



『DOBOT Audi R8 LMS』

Yoshiaki Katayama

Roberto Merhi Muntan

大会概要

2023年 SUPER GTシリーズ 第8戦

大会名称

2023 AUTOBACS SUPER GT Round8 MOTEGI GT 300km RACE GRAND FINAL

開催日時

11月4日 土曜(予選) 11月5日 日曜(決勝)

開催サーキット

モビリティリゾートもてぎ(1周: 4.801km)

所在地: 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1

同時開催レース

2023 FIA-F4 選手権 第13戦・第14戦

主催

ホンダモビリティランド株式会社/エム・オー・スポーツクラブ(M.O.S.C.)/
株式会社GTアソシエーション

公認

国際自動車連盟(FIA)

一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)

認定

株式会社GTアソシエーション

後援

経済産業省/国土交通省/自由民主党モータースポーツ振興議員連盟/茂木町



◆ 参戦体制

■ ドライバー



片山 義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日 1993年11月13日
出身地 愛知県
身長 168cm
体重 69.3kg
血液型 RH+O



ロベルト メリ ムンタン
ROBERTO MERHI MUNTAN

生年月日 1991年3月22日
出身地 スペイン
身長 178cm
体重 70kg
血液型 RH+O



神 晴也
SEIYA JIN

生年月日 2000年10月30日
出身地 大阪府
身長 175cm
体重 70kg
血液型 Rh+O

■ 監督

太田 雅文
Masabumi Ota

■ スタッフ

チーフエンジニア
クルーチーフ
チーフメカニック

Mattia Oselladore
小倉 啓悟
片岡 恵人

■ スポンサー

DOBOTジャパン株式会社
ザーレン・コーポレーション株式会社
TONE株式会社
高新自動車学校
ニチアス株式会社
エバー株式会社
コスモ開発株式会社
株式会社安藤・間
岡田金属株式会社
株式会社ジョイフル設備
カトー機械株式会社
株式会社デジテックエイチピー
株式会社マイティミズタニ
MIDTOWN BBQ
ウエスタンデジタル合同会社
青山エレベーター株式会社

エルアイピーリゾート株式会社
城東電機株式会社
ブランデュース株式会社
株式会社リブレ
見田工作株式会社
株式会社PACIFIC RACING TEAM
朝日金属株式会社
有限会社大和工業
有限会社ます徳
アクセル有限会社
ORIC
SPIN OFF
株式会社ケミテック渡部

◆ 予 選

天候 晴れ

コース状況 ドライ

気温 23℃ (GT300クラスQ1開始時)

路面温度 29℃ (GT300クラスQ1開始時)

予選開始 14時38分 (GT300クラスQ1-B組開始)



前回のオートポリスでは、ライバルに対して速さを見せることはできたものの、トラブルやアクシデントにより入賞を逃したTeam LeMansは、2023シーズンを良い結果で締めくくるべく、片山義章、ロベルト・メリ・ムンタンとともに、モビリティリゾートもてぎの最終戦に臨んだ。

まずは11月4日の午後、決勝のスターティンググリッドを決めるノックアウト方式の予選が行われた。この第8戦には25台がGT300クラスにエントリー。いつもどおり予選はA、Bの2組に分かれてそれぞれ10分間のQ1を行い、各組の上位8台がQ2に進出する。

#6 DOBOT Audi R8 LMSは片山がB組でQ1突破に挑む。

#6 DOBOT Audi R8 LMS**予選結果：13位（予選Q1ベストタイム：1分46秒866／片山選手）（予選Q2ベストタイム：1分46秒845／ロベルト選手）**

予選日の午前に行われた公式練習ではクラス6番手のタイムをマークし、安定した速さを見せる#6 DOBOT Audi R8 LMS。その好調ぶりは、片山が臨んだQ1にも現れていた。

片山はアウトラップから3周にわたってタイヤをウォームアップし、満を持して4周目にタイムアタック。片山がマークした1分46秒866は、トップとコンマ736秒の5番手となり、見事Q2進出を果たす。

続くQ2は15時13分にスタート。ロベルトもまた3周をかけてタイヤを温め、4周目にタイムアタックに臨んだものの、思うようにまとめきれず、タイムは1分52秒936。さらにもう1周タイムアタックを続けて1分46秒845を叩き出したものの、ポジションはクラス13番手に留まった。

◆ 決 勝

天候 晴れ・雨

コース状況 ドライ・ウェット

気温 23℃ (スタート時)

路面温度 28℃ (スタート時)

決勝レース開始 13時6分

レース予定周回数 63周 (約300km)



#6 DOBOT Audi R8 LMS (片山&ロベルト&神選手)

決勝結果：3位 (所要時間：1時間53分43秒686=59周消化/ベストラップ：1分49秒644=片山選手)

11月5日、季節はずれの高めの気温となったモビリティリゾートもてぎ。決勝が近づくにつれて上空には雲が広がりはじめ、雨の可能性も高まるなか、13時6分、63周・300kmにわたる戦いの火蓋が切られた。レース前半を担当する片山はクラス13番手からのスタートとなったが、前日から見せていた速さをこの決勝でも発揮。オープニングラップで2つポジションを上げ、さらに3周目には自己ベストとなる1分49秒644をマークしながら、先行するライバルに迫っていく。

片山は3周目に入賞圏内の10位に入り、その後も5周目に9位、9周目に8位、16周目に7位と徐々に順位を上げ、さらに19周目にはポイントリーダーの#52 埼玉トヨペットGB GR Supra GTをかわして6位に浮上。翌20周目には強敵#61 SUBARU BRZ R&D SPORTをもオーバーテイクして5位までポジションをアップして見せた。25周を走り終えたところで片山はドライバー交替のためピットへと向かう。ライバルたちの多くがタイヤ無交換作戦を採るなか、Team LeMansはタイヤ4輪交換を選択し、後半の追い上げに勝負をかける。

そんな期待に応えるように、レース後半を託されたロベルトがライバルたちに襲いかかる。クラス14番手でコースに復帰したロベルトは33周目に#96 K-tunes RC F GT3をパスして10位に浮上。全車がドライバー交替を終えた37周終了の時点では7位まで順位を上げていた。

レース終盤、コースはウェットコンディションに変化するが、ロベルトは厳しいコンディションのもとでも追撃の手を緩めることなく、#31 apr LC500h GT、#52 埼玉トヨペットGB GR Supra GT、#56 リアライズ日産メカニックチャレンジGT-Rを次々にパスし、48周目には4位につけた。

しかし、3位を走る#2 muta Racing GR86 GTとの差は約26秒と開いており、残り約10周でこれをかわすのは難しいと思われた。ところが、残り6周となったとことで、雨が強まることにかけて#2がレインタイヤに交換するためにピットストップ。これによりロベルトは3位に浮上する一方、予想とは裏腹に雨は強まらず、コースに留まっていた#6 DOBOT Audi R8 LMSが3位を守り、今季3度目の表彰台を獲得した。

優勝には手が届かなかったものの、3度の3位を含めて4回の入賞を果たした#6 DOBOT Audi R8 LMSは、ドライバーランキング9位、チームランキング10位で2023シーズンを終えることになった。

片山 義章 選手のコメント

優勝を目指していたので、悔しい気持ちはありますが、最終戦をきっちり表彰台で飾れたのは本当にうれしいです。

予選がうまくいってれば優勝は狙えたと思いますので、今回のレースをしっかりと見直して、来年ははずみをつけて、さらに上、表彰台の真ん中に行きたいと思います。

ロベルト・メリ・ムンタン 選手のコメント

ヨシ（片山）の走りが素晴らしかった！ スタートからミスのない速い走りを見せ、良いポジションで、私にマシンを渡してくれました。私のスティントでは14番手から4位まで追いましたが、雨が強くなった終盤はとても苦しいレースになりました。それでも最後に3位にポジションを上げることができて、とても良い形でレースを終えることができたのがうれしいです。

この1年でチームもヨシも目を見張るほど強くなり、そこに関わることができたのは幸せです。このもてぎでシーズンが終わってしまうのが残念ですね。

神 晴也 選手のコメント

この1年を振り返ると、マシンの熟成が進み、昨シーズンより乗りやすくなっていることもあって、得意とするもてぎで表彰台を獲得できたのが良かったです。私自身はこの1年で学ぶことがたくさんあり、この経験を来シーズンに生かしたいと思います。

チームコメント

レース結果を見ると、予選でもう少し上のポジションを獲得していれば、優勝に手が届いたかなとは思いますが、3位という成績には十分満足しています。

シーズン当初からももちろん優勝を目指して戦ってきましたが、最終的に3位表彰台を3回獲得し、ここまでの成績を残せたのをうれしく思います。今シーズンはチームの体制やメンバーが変わり、一からのスタートとなりましたが、メンバーひとりひとりが努力を重ねたおかげで、良い形でシーズンを終えることができました。

いま強く感じているのがチームのレベルアップです。クルマのセットアップだけでなく、ドライバーやスタッフの意気込みの高さを含めて、チーム力が高まったことが、この戦績につながったと思います。いくつか取りこぼしがあったために、目標としていたチームランキング5位には届きませんでした。最終戦をこういった形で終え、これを自信に来シーズンは開幕戦から上位を狙っていきたいです。1年間、応援ありがとうございました。



